



九州大学
 人文社会科学系協働研究・教育コモンズ

人文科学研究院／人間環境学研究院
 法学研究院／経済学研究院

オムニバスセッション 知の形成史

【オンライン開催】

第3回 2022 7/13 [水] 14:50～

【開催の形態】オンライン会議形式（ZOOMにて開催）

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれながらも、時代の移ろいや、それにとまなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来（いでき）はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人文社会科学系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

荒木 啓充 九州大学経済学研究院助教
 産業マネジメント部門

食資源としての昆虫 ～昆虫の新たな価値創造～

昆虫は地球上で最も種類の多い生物であり、100万種以上が記載されています。昆虫はこれまでに分類学、遺伝学、生態学、分子生物学、衛生学など、さまざまな領域で研究対象とされてきましたが、近年の世界的人口増加とそれに伴う食糧不足や環境的、産業的観点から、食資源として新たな価値を創造しようとしています。2023年は昆虫学者ファーブル博士の生誕200年。この時代に昆虫が人類の食糧危機を救うかもしれない存在になるうとは、ファーブル博士は草葉の陰からどのような思いで見つめているのでしょうか。昆虫を食することの社会的、科学的側面について紹介します。

【聞き手】田尾 周一郎 九州大学基幹教育院助教

【司 会】岡 幸江 九州大学人間環境学研究院教授

本企画は九州大学創立111周年記念 VISION EXPO における科学コミュニケーション推進グループ企画『『みせる』九大の総合知プロジェクト～『海』と『食』～』の一環として実施されています。



九州大学
 KYUSHU UNIVERSITY

参加申込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。
 折り返し、アドレスとパスワードをご連絡いたします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/event_13.html ▶



【主催／お問合わせ】九州大学人文社会科学系協働研究・教育コモンズ Email:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

【共催】九州大学科学コミュニケーション推進グループ（Q-STRING）